

せいれいこうりんごだい
聖霊降臨後第13 主日(特定16)

とくとう
特祷

しゅ きようかい
主よ、教会はただ主の助けによつてのみ健全に
たつことが出来ます。どうか絶えることのない
たすけをもつて主の教会を清め守り、恵みと力
によつていつまでも堅く保つて下さい。
しゅ
主イエス・キリストによつてお願いいたします。
アーメン

《旧約聖書》 本日の旧約聖書はこちらです。

しよ
イザヤ書

第51章 1節から6節

わたしに聞け、正しさを求める人
主を尋ね求める人よ。
あなたが切り出されてきた元の岩
掘り出された岩穴に目を注げ。

2 あなたたちの父アブラハム

あなたが産んだ母サラに目を注げ。
わたしはひとりであった彼を呼び

かれ しゅくふく
彼を祝福して子孫を増やした。

しゅ
3 主はシオンを慰め

はいきよ なぐさめ
そのすべての廃墟を慰め

あ の
荒れ野をエデンの園とし

あ ち その
荒れ地を主の園とされる。

よろこ たの かんしゃ うたごえ ひび
そこには喜びと楽しみ、感謝の歌声が響く。

たみ みにう
4 わたしの民よ、心してわたしに聞け。

くに
わたしの国よ、わたしに耳を向けよ。

おし
教えはわたしのもとから出る。

またた ま
わたしは瞬く間に

たば
わたしの裁きをすべての

ひと ひかり
人の光として輝かす。

せいぎ ちか
5 わたしの正義は近く、わたしの救いは現れ

うて しょこく たみ さば
わたしの腕は諸国の民を裁く。

しまじま のぞ
島々はわたしに望みをおき

うて ま のぞ
わたしの腕を待ち望む。

てん む
6 天に向かつて目を上げ

した ひろ ち みわた
下に広がる地を見渡せ。

てん けむり
天が煙のように消え、地が衣のように朽ち

ち す もの
地に住む者もまた、ぶよのように死に果てても

わたしの救いはとこしえに続き

わたしの恵みの業が絶えることはない。

※以下、聖書日課に記載の聖書です。

《旧約聖書》

イザヤ書

第5章 1節から6節

1 わたしは歌おう、わたしの愛する者のために

そのぶどう畑の愛の歌を。

わたしの愛する者は、肥沃な丘に

ぶどう畑を持っていた。

2 よく耕して石を除き、良いぶどうを植えた。

その真ん中に見張りの塔を立て、酒ぶねを堀り

良いぶどうが実るのを待った。

しかし、実ったのは酸っぱいぶどうであった。

3 さあ、エルサレムに住む人、ユダの人よ

わたしとわたしのぶどう畑の間を裁いてみよ。

4 わたしがぶどう畑のためになすべきことで

何か、しなかったことがまだあるというのか。

わたしは良いぶどうが実るのを待ったのに

なぜ、酸っぱいぶどうが実ったのか。

5 さあ、お前たちに告げよう

わたしがこのぶどう畑をどうするか。

囲いを取り払い、焼かれるにまかせ

石垣を崩し、踏み荒らされるにまかせ

6 わたしはこれを見捨てる。

枝は刈り込まれず

耕されることもなく

茨やおどろが生い茂るであろう。

雨を降らせるな、とわたしは雲に命じる。

《使徒書》

ローマの信徒への手紙

第11章 33節から36節

33 ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いこと

か。だが、神の定めを究め尽くし、神の道を

理解し尽くせよう。

34 「いったいだれが主の心を知っていたであろうか。だれが主の相談相手であっただろうか。

35 だれがまず主に与えて、

その報いを受けるであろうか。」

36 すべてのものは、神から出て、神によって

保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に

永遠にありますように、アーメン。

《福音書》

マタイによる福音書

第16章 13節から20節

13 イエスは、フィリポ・カイサリア地方に

行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のこ

とを何者だと言っているか」とお尋ねになった。

14 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と

言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。

ほかに『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』

と言う人もいます。」15 イエスが言われた。「そ

れでは、あなたがたはわたしを何者だと言うの

か。」16 シモン・ペトロが、「あなたはメシア、

生ける神の子です」と答えた。17 すると、イエ

スはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あな

たは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、

人間ではなく、わたしの天の父なのだ。

18 わたしも言うておく。あなたはペトロ。わた

しはこの岩の上にわたしの教会を建てる。

陰府の力もこれに対抗できない。19 わたしは

あなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上で

つなぐことは、天上でもつなされる。

あなたが地上で解くことは、天上でも

解かれる。」20 それから、イエスは、御自分が

メシアであることをだれにも話さないように、

と弟子たちに命じられた。

「詩編」については週報をご覧ください。

2020 年 8 月 23 日

信徒作成

1. 神よ、わたしたちは心を尽くしてあなたに感謝し Ⅱ もろもろの神の前であなたをたたえる

2. あなたの尊い宮に向かってひれ伏し、慈しみとまことのゆえにみ名に感謝を献げる Ⅱ

あなたは約束を果たし、み名をすべてにまさるものとされた

3. わたしが叫びを上げたとき、あなたは答え Ⅱ わたしの魂の中に力を増してくださった

4. 主よ、国々の王はあなたに感謝を献げる Ⅱ あなたのみ言葉を聞いたから

5. 彼らは主のみ業を喜び歌う Ⅱ 「主の栄光は偉大」と

6. いと高き主は、へりくだる人に心を留め Ⅱ 高ぶる者には近づかれない

7. 苦しみの中にあるときも、あなたはわたしの命を支えられる Ⅱ み手を伸ばして敵の怒りを退け、右のみ手でわたしを救われる

8. 主は、わたしに約束されたことを、すべて成し遂げられる Ⅱ 主よ、あなたの慈しみは永遠、み手の業を見捨てないでください